

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

<http://oki-kyo.jp>

発行責任者 仲程正哲

新年の挨拶

沖縄協同病院院長 仲程正哲

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。

本年、沖縄協同病院は那覇市古波蔵への移転5年目を迎えることになり、南部地区における急性期病院としての力が試される正念場の年だと考えております。

病院として救急車を断らない、を基本方針としておりますが、様々な理由で受け入れが困難な場合があり、利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしております。

医師体制の整備、効率的な病床管理など、まだまだ内部努力を要する部分の一つと考えております。

沖縄協同病院は厚生労働省指定の医師臨床研修病院として、若い研修医の教育も行っております。この10年間で基礎研修を修了した研修医は70名に達し、現在も12名が研修医として頑張っております。

研修後は県内外で活躍しており、当院の将来を担う医師も育ってきております。

昨年を振り返ると躍進した診療科として、眼科と心臓外科が挙げられます。眼科は白内障の手術ができるようになり、患者様から喜ばれております。心臓外科は長崎大学からの支援で常勤医が赴任しております。また、心臓救急にも対応できるよう現在準備を進めており、本年1月中にも日中の救急告示を行う予定で、救急病院としては更なるレベルアップが図れると考えております。

しかしながら肝心の経営活動は未だ不安定であり、現状分析を厳しく行い、健全な経営構造に転換していく必要があります。

今後は職員一同、課題を克服する為に努力し組合員の皆様が安心して頼れる「わった一病院」を目指す所存ですので本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

季節の繪

画・内科医 上原和博



第29回NAHAマラソン救護班活動

12月1日、沖縄のビッグイベントの1つである那覇マラソンが開催されました。

各病院で担当する救護所が割り振られており、沖縄協同病院は毎年24.6km地点で救護活動を行っています。今回は医師2人、看護師4人、事務職員1人の計7人で救護活動を行いました。

最初はトップランナーの通過を見守りながら、沿道で応援をおくり、その後はスティックゼノールとエーサロンパスの出番。ぞくぞく通過するジョガーへ手分けして対処しました。天候に恵まれすぎたせいか、下肢の有痛性筋痙攣や、気分不良を訴えるジョガーもいました。医師の診察後に点滴を実施したり、テーピングをしたりと、救護所も大忙しました。幸いにも重症者は出ず、無事にジョガーの方々を見送ることができました。

ジョガーの皆様本当にお疲れでした。

救急センター
與那嶺雄就任のあいさつ
おいしい食事・栄養管理を目指します。

あけましておめでとうございます。

昨年11月30日より、栄養管理室の室長になりました又吉菜摘です。管理職という室長業務に戸惑いながら、多くの関連部署の皆様に支えてもらい、本当に感謝しています。

新しい年を迎え、新たな気持ちで、栄養管理室職員と力を合わせて「患者様の声を大切にしたおいしい食事と、栄養管理を目指したい」と思っています。そのため、患者さんや、他部署とのコミュニケーション、連携を大切にしたいと思いますので、これからも皆さんのご協力、ご指導よろしくお願ひします。

栄養管理室長 又吉菜摘

心臓が痙攣し、脳への血流が少なくなり失神してしまいます。こちらはより危険な不整脈であり、心室頻拍と呼ばれる不整脈が原因である場合も少なくありません。その場合は、非心臓の病気です。その中でも予断を許さないものが不整脈です。不整脈にも様々な種類があります。神経調節性失神は、命の危険を伴うことがあります。心臓の病気です。そのため失神をする場合もあります。逆に脈が極端に速くなる場合（頻脈）も、心臓が痙攣し、脳への血流が少なくなり失神してしまいます。どちらはより危険な不整脈である心室頻拍と呼ばれる不整脈が原因である場合も少なくありません。その場合は、常に生命の危険が考えられます。その他にも失神の原因として様々な病気があります。失神した場合は、まずは医療機関を受診することをお勧めします。

失神について

循環器内科



今回は失神についてお話しさせていただきます。失神とは、一時的な意識消失発作で、短時間の間に完全に意識の回復を認めるもの、を言います。「一時的」、「完全に回復する」という点がポイントです。失神は脳への一時的な血流の低下が原因です。では、血流が戻れば意識も回復します。したがって失神をきたす病気＝脳への血流が一時的に低下する病気ということになります。

失神した場合、多くの方が頭の病気（脳の異常）を心配されますが、実は原因としてはそれほど多いわけではありません。意識が回復しない、つまり失神ではない場合、頭の病気が多いです。

失神の原因として最も多いのは、神経調節性失神です。立ちっぱなしで気分が悪くなり倒れてしまう方がいますが、それがまさしく神経調節性失神です。脳貧血と言われることがあります。しかし、赤血球が少なくなるいわゆる貧血ではありません。心臓の動く強さや回数を調節し、血管を伸び縮みさせることで血圧および脈拍を最適な状態に保っています。ところがその調節がうまくいかない方が立ちはだかになってしまった場合、本来血圧や脈拍が上昇するべき場面で逆に低下し、脳への血流が減り失神してしまいます。他にも咳や排便、排尿をきっかけに自律神経の調節がおかしくなり失神する場合もあります。神経調節性失神は、命の危険を伴うことがあります。心臓の病気です。そのため失神をする場合もあります。失神をきたしてしまいます。失神をきたすような徐脈では、多くの場合ペースメー

ヘルシーお正月料理試食会を開催しました

12月7日、かりゆし会年末恒例の「お正月料理試食会」を行いました。年末の忙しい中、21名の患者様が参加しました。

久しぶりに参加される患者様もあり、ヘルシーで色とりどりの料理に、各テーブルとも会話をはずみ終始、和やかな雰囲気で試食会をすすめる事ができました。

次回の試食会には「沖縄の食材を使ったメニューを取り入れて欲しい」などいろいろなご意見もいただき、今後の参考にしていきたいと考えています。

栄養管理室 平原貴久乃

【メニュー】

フーチバージューシー
シシャモの昆布巻き
鶏肉のミヌダル風
ホタテのきのこソースかけ
おぼろ茶碗蒸し
煮物
かぶのゆず味噌かけ 他



☆今回のメニューの中から一品ご紹介します☆

ホタテのきのこソースかけ

材料 (1人分量)

ホタテ	40g	A	ウスタークリームソース	1cc
塩	1g		デミソース	2cc
こしょう	0.1g		トマトケチャップ	4cc
まいたけ	10g		赤ワイン	0.5cc
しめじ	10g		水	3cc
えのき	10g		サラダ菜	10g

作り方 (1人分 50キロカロリー)

- ①ホタテは軽く塩、こしょうする。
- ②マイタケ、しめじ、えのきは石づきをとって洗う。
マイタケ、しめじはほぐし、えのきは半分に切る。
- ③①のホタテをホイルで包み、オーブントースターで7~8分程蒸し焼きにし、皿に盛る。
- ④フライパンに②のきのこを炒め、Aの調味料のソースを加え、味付けし、③のホタテにかける。

病院の活動状況 <11月度>

- ・外来一日平均患者数:593人(前年同月比-106人)
- ・入院一日平均患者数:257人(前年同月比-2人)
- ・組合員利用率:56.9%(前年比+3.8%)

事務課長 金城稻子



さて、自民党の議員、県連、浦添市長、宜野湾市長が相次いで「普天間飛行場の辺野古移設」を容認した。理由は「普天間の固定化を避けるため」だというが、広大で高機能化した基地は「沖縄の固定化につながること」をわかつての容認なのだろうか。とても情けない。それに対して、那覇市長、名護市長の「沖縄にこれ以上基地は造らせない」という不退転の決意には、ウチナー魂を見る思いだ。権力との闘いは難を極めるが、それを県民総意で転じていきたいものである。

さて、自民党の議員、県連、浦添市長、宜野湾市長が相次いで「普天間飛行場の辺野古移設」を容認した。理由は「普天間の固定化を避けるため」だというが、広大で高機能化した基地は「沖縄の固定化につながること」をわかつての容認なのだろうか。とても情けない。それに対して、那覇市長、名護市長の「沖縄にこれ以上基地は造らせない」という不退転の決意には、ウチナー魂を見る思いだ。権力との闘いは難を極めるが、それを県民総意で転じていきたいものである。



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

投書 手術をしておかげ様で元気になりましたが、薬の受け取りが不便ですので、繁多川までバスを出してください。お願いします。

回答 ご不便をお掛けしております。当院の巡回バスは、主に交通機関(路線バス)のない地域を中心としてあります。

運行については、利用人数、費用面で慎重な検討が必要になり、直ぐの運行は難しい状況です。

今後は病院利用委員会などで、慎重に検討していきたいと考えています。

ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をあ願い致します。

総務課長 平良顕治

泌尿器科 外来診療体制変更のお知らせ

2014年2月より金曜日は1・3週のみの診療となります。

	月	火	水	木	金
午前					遠藤 (1・3週)
午後					(尿失禁外来) 菅谷

«診療開始時間・受付終了時間»

午前/9:00~11:00 午後/2:00~4:00

眼科 外来診療体制変更のお知らせ

2014年2月より木曜日午前外来が閉診となります。

	月	火	水	木	金	土
午前		館一男	館一男		館一男	

«診療開始時間・受付終了時間»

午前/9:00~11:00



おきなわの自然⁽⁴⁴⁾

ナンテン

正月の縁起木には千両、万両、竹(まつ)すぐ伸び、曲げても折れない)、松(神様を呼び込む「神待つ木」)、そして南天(難を転げる)等がある。

南天の語源は中国名の南天竹(枝の節と生え方が竹に似ている)、南天燭(赤い実を灯と見立てた)を簡略化したものだという。

南天は火事の多かった江戸時代から「庭に植えれば火災を避けられる」「赤い実は厄除けになる」として、好んで植えられていたようだ。沖縄ではあまりなじみがなかつたが、正月の生け花や門松に南天が使われるようになつてから、あちこちの庭で見かけるようになつた。実家にも正月に使用したものを持し木したものが庭を占領している。風水では鬼門に、トイレ・玄関・台所は避けるが、避けられない場合は南天を植えて魔除けにするようだ。

南天の葉には殺菌作用があり、赤飯の上に置いたり、昔はトイレの側に植え、手を洗う水がない時にその葉で手を清めたという。また、お年寄りがトイレで転ぶのを防止する役目もあつたという(南天の木につかまつて、難を転じる)。枝で作った箸は食あたり防止になる。更に、生葉の汁はハチに刺された時やすり傷・火傷等の痛み止め、噛む効果があるといふ。

さて、自民党の議員、県連、浦添市長、宜野湾市長が相次いで「普天間飛行場の辺野古移設」を容認した。理由は「普天間の固定化を避けるため」だというが、広大で高機能化した基地は「沖縄の固定化につながること」をわかつての容認なのだろうか。とても情けない。それに対して、那覇市長、名護市長の「沖縄にこれ以上基地は造らせない」という不退転の決意には、ウチナー魂を見る思いだ。権力との闘いは難を極めるが、それを県民総意で転じていきたいものである。